

# 小学校教諭になる4年生から

西本 楓さん

広島市立沼田高等学校出身

私は、小学校教員採用試験に向けて大学の先生方が開いてくださった対策講座を中心に勉強しました。対策講座でもらったプリントや先生方の話などをまとめ、自分だけの勉強ノートを作り、何回も復習した後、過去問を解くという一次試験対策をしました。二次試験の対策は先生方に模擬面接をしていただきました。面接で私が特に大切だと思うことは、日頃から価値ある経験をし、それを伝えるトークスキルを磨くことだと思います。

就職したら、今まで培ってきたことを活かしつつ、新しいことを学びながら先生として成長していきたいと思います。

助迫 瞳さん

広島県立西条農業高等学校  
出身

私が大学生生活で力を注いだことは、大学と連携している小学校の学習指導員や特別支援学級の補助としてのボランティア活動です。この経験から様々な背景のある子どもたちとともに成長していきたいと実感しました。教員になりたいという夢を強く持ちながら、友達と協力し合って苦手な勉強に毎日少しずつ取り組みました。合格できた今は頑張ってよかったという気持ちでいっぱいです。

就職後は初心を忘れずに、子どもたちがのびのびと成長でき、個性を発揮できる学級を作りたいです。

濱田 滯音さん

山口県 長門高等学校出身

私が教員採用試験に合格するまでに力を入れたことは、大学の対策講座と自主勉強です。昼間はしっかり勉強をし、夜間は自分の好きなことをするといったメリハリを付けて勉強に取り組みました。常に勉強ではなく、好きなことをする時間を取っていたので、心に余裕を持って勉強、採用試験に取り組みました。

教員になってからも、仕事とプライベートのメリハリを付け、気持ちにゆとりのある信頼される先生を目指してがんばります。



脊戸 奏海さん

広島県立三原高等学校出身

私は大学4年間の中で何度も自分の将来について考えることがありました。そのたびに「小学校の先生とは何か」「なぜ私は小学校の先生になりたいと思ったのか」「今何をすべきか」の自問自答を、時には友人や先生方からの意見を交えながらしてきました。私が最後までやりきることができたのは、立ち止まるたびにこの問いを自分自身に投げかけ続けることで、合格した先のことを自分なりにしっかり考え、見失わなかったからだと思います。

春、子どもたちと逢うのがとても楽しみです。



清水 美天空さん

広陵高等学校出身

努力は必ず報われる！と頑張った自分をほめたい気持ちです。今まで、高校受験や大学受験でも頑張りましたが、それ以上に勉強しました。ゼミの先生と一次試験の傾向を調べ、出題傾向を知り、先生には予想問題を作ってもらいました。それらを一生懸命に解き、頭に確実に入れていき、繰り返し勉強をしました。私は、この大学に来てゼミの先生に出会えたことが本当に良かったです。皆さんもゼミの先生と一緒に合格を勝ち取りましょう！



大庭 晴香さん

福岡県立北筑高等学校出身

私は教員採用試験に合格するために、日々の授業に力を入れました。特に、各科目の模擬授業では、指導案の作成だけでなく教材準備や実践後の振り返りも大切にしました。このような取組から、目標に向けて目の前のことに誠実に取り組んだことが自信に繋がることを実感し、目標に向けて努力する過程を大切にできる環境も重要だと気づきました。

今後は、児童一人一人が自分の目標を設定し、それに向かって努力できる環境を作る教員になれるよう頑張りたいです。